

高洲地区 区民対話会

- ◆日時:平成27年3月7日(土)
10時00分～11時30分
- ◆場所:高洲コミュニティセンター

1

【テーマ】
地域の将来像と担い手
～持続可能な地域コミュニティの構築～

2

地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、
地域の住民や団体どうしのつながりや
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、
みんなの力で自主的によくしていく

3

地域コミュニティの必要性

環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、
防災防犯
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの
再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも
高まっている

4

地域コミュニティの現状

身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待…

地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

地域コミュニティの力が弱まっている
地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

考えられる理由

- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化
- …

このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



地域コミュニティの継続が困難

今はよくても将来はない...

7

地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

8

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

9

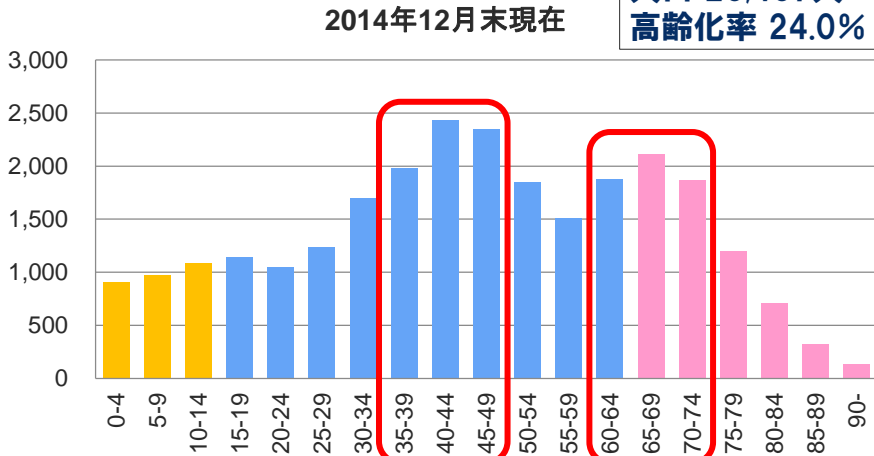
高洲地区の現状

10

現在の人口構成

■ 40代前半と60代後半の人口が多い

人口 26,467人
高齢化率 24.0%



出典: 町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

11

これまでの人口の推移

■ 高洲地区は、過去10年の人口減少率が美浜区9地区中4番目 (▲8.1%)

美浜区内 過去10年の人口減少率の高い地区

順位	地区名	人口増減	増減率
1	幸町2丁目	▲2,755	▲18.5%
2	高浜	▲1,969	▲12.4%
3	磯辺	▲2,218	▲11.4%
4	高洲	▲2,347	▲8.1%
5	幸町1丁目	▲533	▲5.5%

出典: 町丁別年齢別人口(千葉市統計課)
2004年3月末と2014年3月末の人口から作成

12

どの年齢層が減少しているか

- 高齢者(65歳以上)は10年前の2倍以上に増加、特に80代以上の増加率が高い
- 減少率は、20代後半～30代前半と4歳以下が高く、若い子供をもつ子育て世帯が減っていると推測される

高洲地区 過去10年
人口増減内訳(年齢3区分)

年齢層	人口増減	増減率
14歳以下	▲1,032	▲25%
15～64歳	▲4,369	▲20%
65歳以上	3,054	109%

減少率TOP3

年齢層	人口増減	増減率
25～29歳	▲1,201	▲46%
30～34歳	▲1,472	▲45%
0～4歳	▲694	▲42%

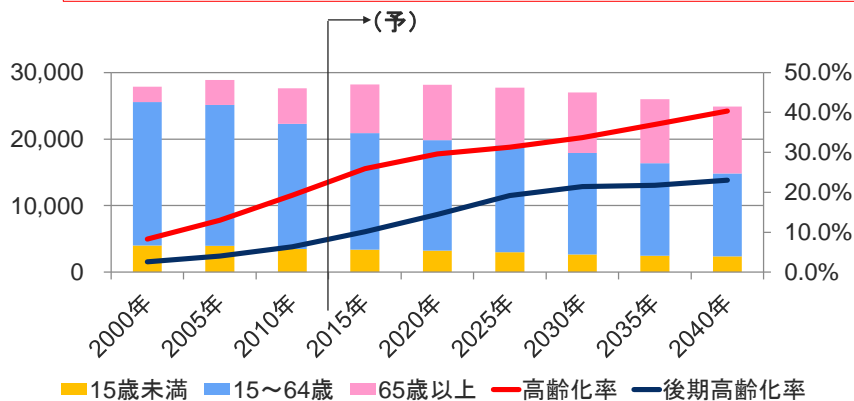
増加率TOP3

年齢層	人口増減	増減率
90～94歳	67	203%
95～99歳	16	178%
80～84歳	417	172%

13

将来推計人口・年齢別人口構成

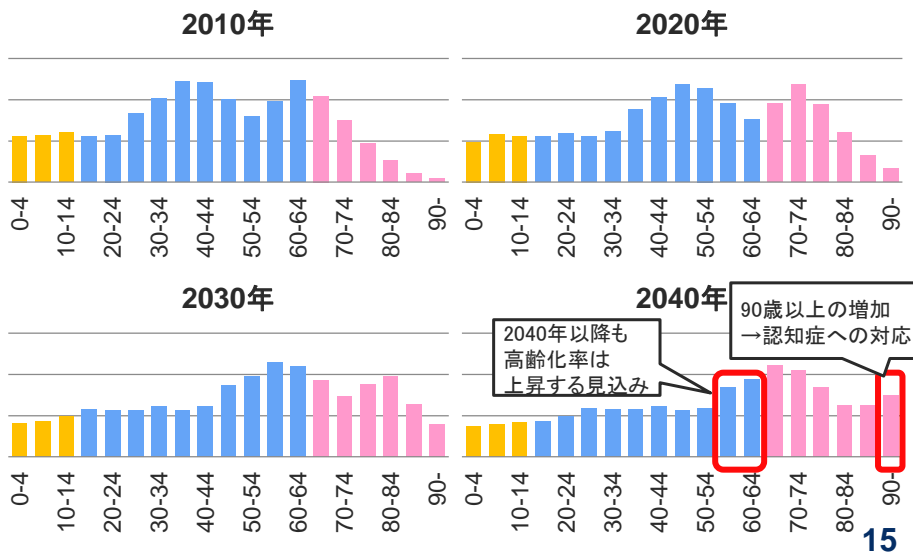
- 地区の人口は今後も緩やかに減少
- 高齢化率は24%から一貫して増加し、25年後に40%超
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は今後10年で約2倍に



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

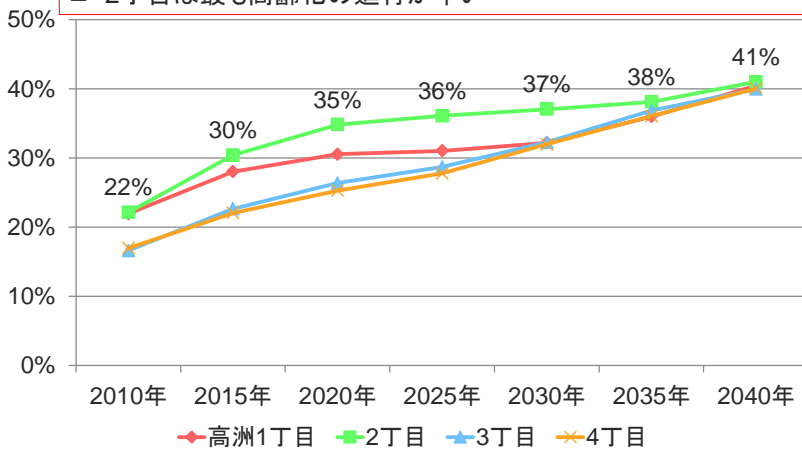
14

年齢別人口構成の将来予測



高齢化率の将来予測

- 1～4丁目の全てで高齢化率は高まり続け、25年後には40%に
- 2丁目は最も高齢化の進行が早い

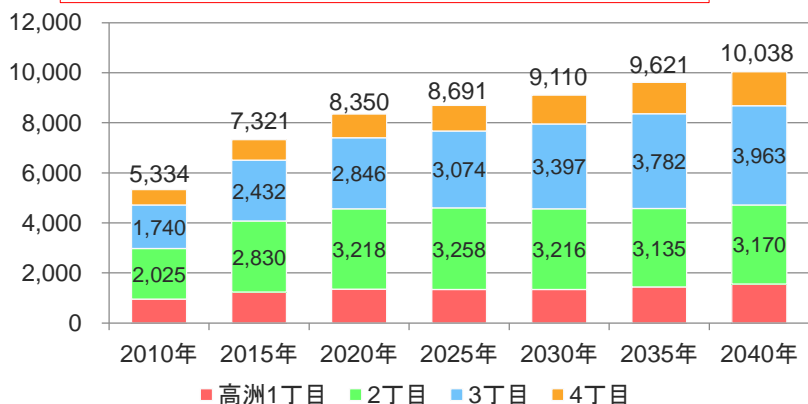


出典:2010年国勢調査

町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

高齢者数の将来予測

- 高齢者数は一貫して増加
- 25年後には高洲地区で1万人に達する見込み

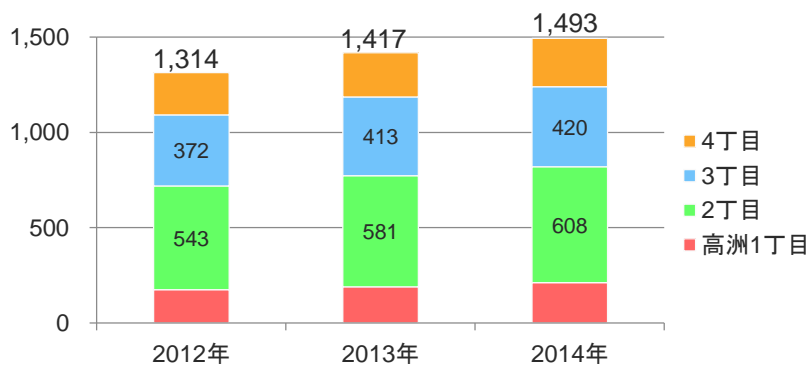


出典: 2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

17

一人暮らし高齢者の数

- 一人暮らし高齢者の数は、1~4丁目全てで増加
- 高洲地区の高齢者のうち、約4人に1人が一人暮らし

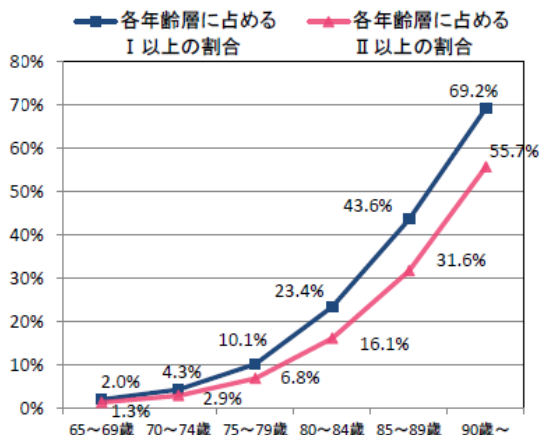


出典: 2012~2014年度高齢者実態調査(千葉市高齢福祉課)
2014年12月町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

18

認知症高齢者の増加

■年齢が上がると、認知症の割合が急増



I、IIは認知症高齢者の日常生活自立度

I：何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。

II：日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。

出典：2013年11月 要介護者数・認知症高齢者数等の分布調査(東京都)

19

■認知症高齢者の割合は増加を続ける

全国の「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数は2010年で280万人、高齢者の9.5%。

2025年には470万人、高齢者の12.8%となる見込み。

2. 将来推計

(単位:万人)

将来推計(年)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)
日常生活自立度 II以上	280 9.5%	345 10.2%	410 11.3%	470 12.8%

※平成24年(2012)を推計すると、305万人となる。

※下段は65歳以上人口に対する比率

【算出方法】

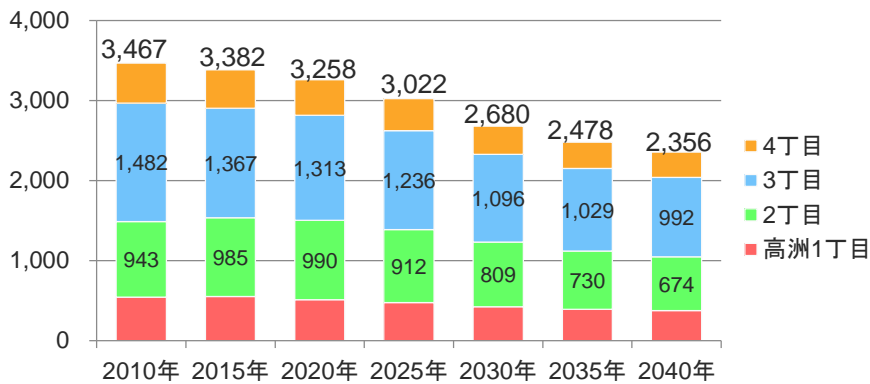
○将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所:H24.1推計。死亡中位出生中位)に、上記1の算出方法による平成22年9月の認知症高齢者割合を性別年齢階級別に乘じて推計した。

出典:「認知症高齢者の日常生活自立度」II以上の高齢者数について
(厚生労働省)

20

子供の数の将来予測

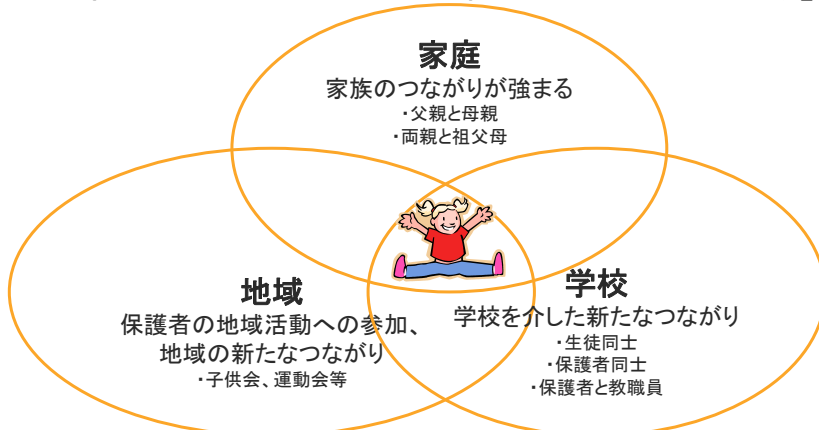
■ 今後一貫して減少し、25年後には7割に



出典: 2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

少子化が地域に及ぼす影響

子供がいることで生まれる様々な「人のつながり」



子供の減少＝つながりの減少

(地域コミュニティの弱体化)

土地利用

- 共同住宅が大部分を占める
- 稲毛海岸駅周辺は、マリニピアをはじめとする商業施設や高層の共同住宅が建ち並ぶ
- 1丁目の東側にまとまった戸建エリア
- 2丁目・4丁目は学校を囲むようにURの賃貸住宅が広がる



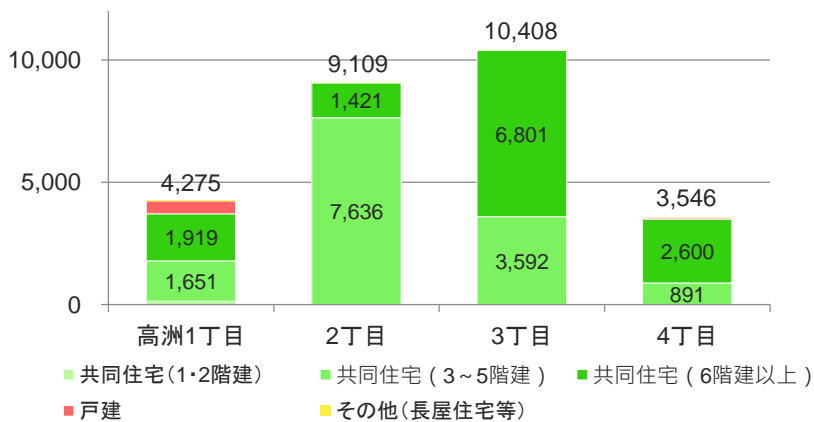
- 01 共同住宅
- 02 戸建
- 03 事業所等

出典：
2014年住宅地図をもとに
美浜区地域振興課作成

23

住宅形態別人口

- 地区人口に占める割合は共同住宅が98%、戸建が2%
- 3~5階建の共同住宅が全人口の半数を占める

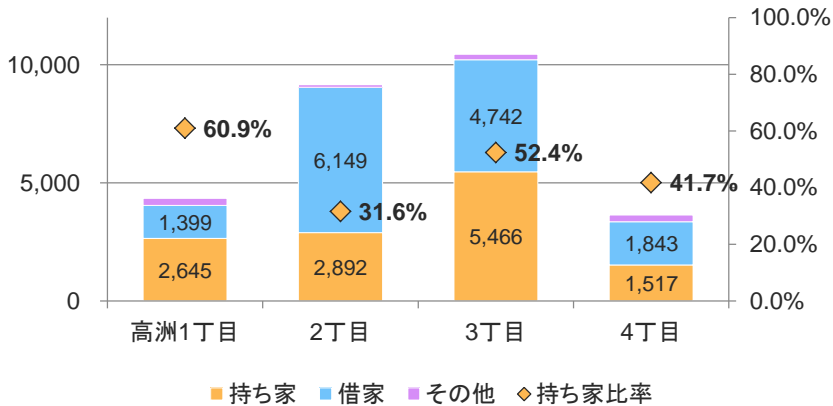


出典：2010年国勢調査 住宅の建て方別主世帯人員

24

住宅所有別人口

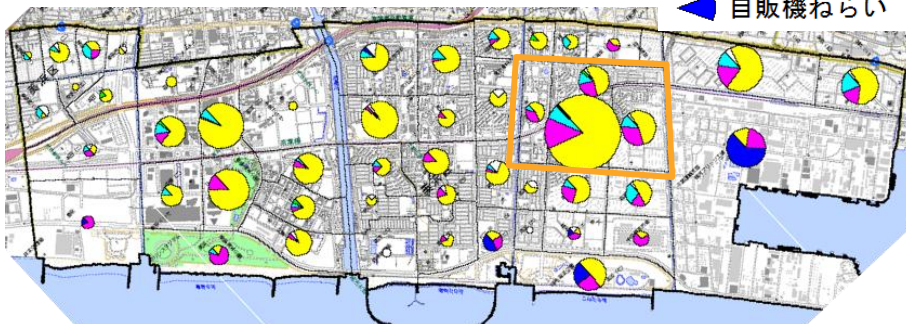
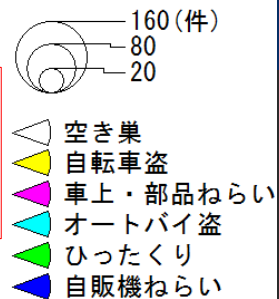
- URの高洲第一・第二団地(約6,500戸)があるため、持ち家比率は全体的に低い



出典: 2010年国勢調査 住宅に住む一般世帯人員

街頭犯罪発生状況

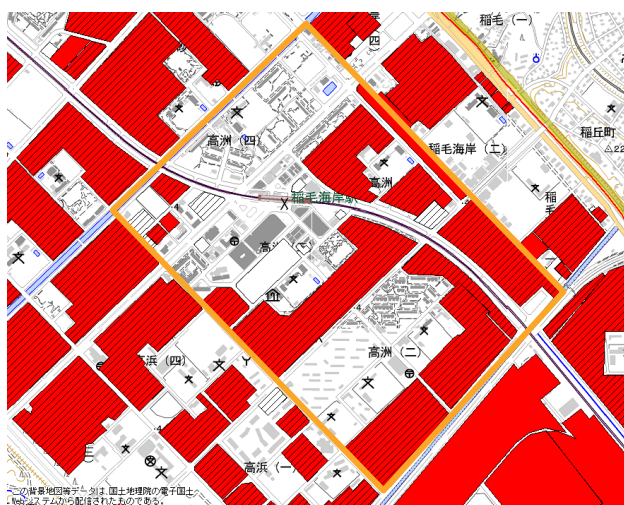
- 平成25年の重点街頭犯罪件数は257件で、区全体(1,035件)の1/4を占める
- 自転車盗が177件、車上・部品ねらいが45件
- 特に3丁目での自転車盗が多く、駅前で駐輪台数が多いためと推測される



出典: 平成25年町丁目別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

自治会等結成状況

■ UR賃貸や駅南側の分譲マンションでは未結成が多い



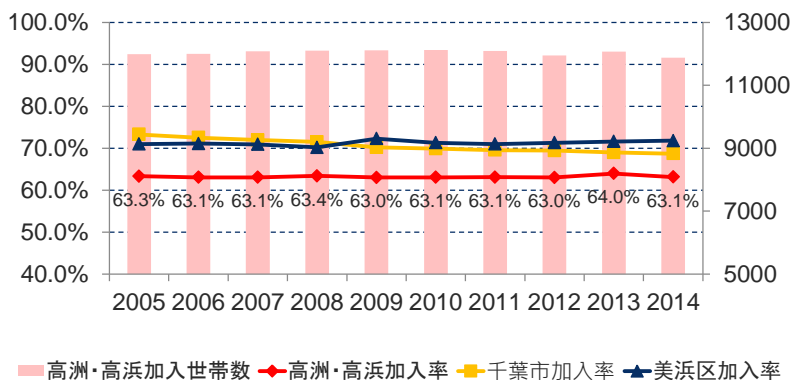
■ : 自治会結成区域

斜線: 自主防災組織結成区域

27

自治会加入率(高洲・高浜地区)

■ 市・美浜区平均が70%程度であるのに対し、高洲・高浜地区は60%台とやや低め

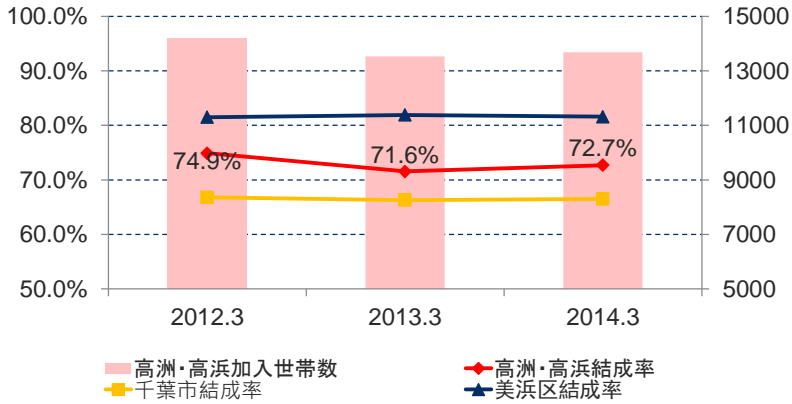


出典: 2005~2014年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

28

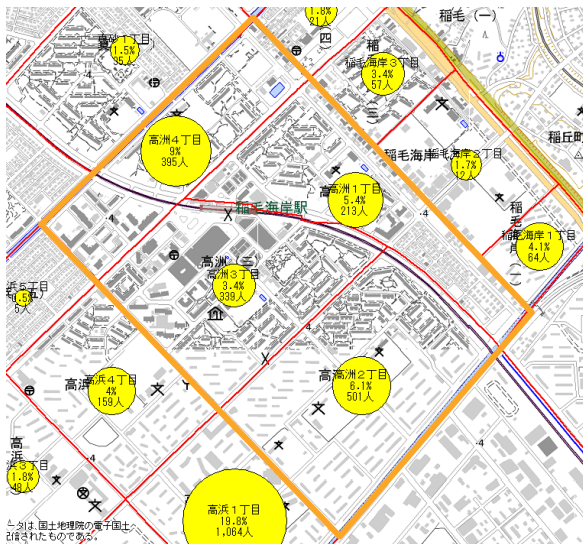
自主防災組織結成率(高洲・高浜地区)

- 高洲・高浜地区は70%台で、市平均より高く
美浜区平均より低い



出典:2011~2013年度末自主防災組織結成状況(美浜区地域振興課)
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

外国人比率

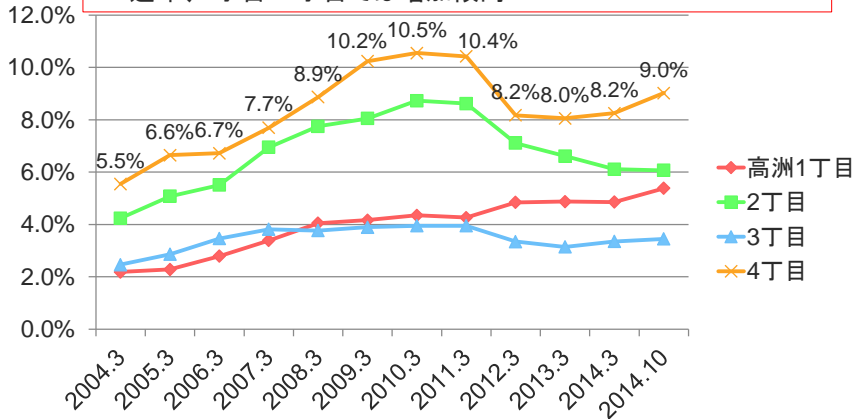


- 3丁目を除き区平均(3.9%)より高く、全体的に高め
- 4丁目は9%と区内で2番目に高い

出典:2014年10月末
町丁別人口集計表
(美浜区市民課)

外国人比率の推移(過去10年)

- 4丁目・2丁目では2011年から2012年にかけて大幅減(2011年3月の東日本大震災によるものと推測される)
- 近年、1丁目・4丁目では増加傾向



出典: 町丁別人口集計表(美浜区市民課)

31

地域団体役員数(高洲・高浜地区)

※美浜区が役員を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	24	15
青少年育成委員会	206	38
スポーツ振興会	50	17
民生委員児童委員協議会	56	25
社会福祉協議会地区部会	65	31

兼務の状況

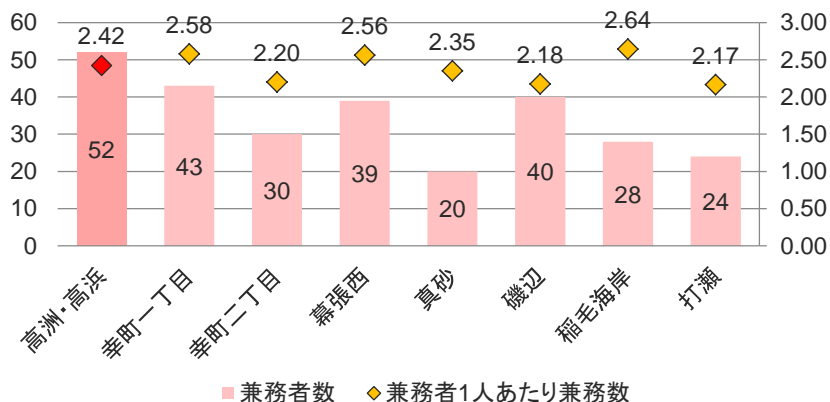
- ・兼務者数 52人(全役員327人)
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.42
- ・最大兼務数 4(1人)

出典: 5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

32

地区別 地域団体役員 の兼務状況比較

- 地域団体数が多いため、全役員の数・兼務者数ともに全地区中で最も多い
- 兼務者1人あたりの兼務数は中程度→より広く分担する余地あり



出典:5団体役員調査(美浜区地域振興課 2014年3月実施)

33

地域活動のご紹介

①5・5まつり

- 毎年5月5日に、高洲コミュニティセンターとその周辺を会場として開催
- 主催は、浜友の会を中心とする地域の皆様
- 子供たちに「思い出とふるさと意識を持ってもらいたい」という思いからスタート



34

地域活動のご紹介

②NPO法人 ちば地域再生リサーチ

- 高洲・高浜地区を中心とした海浜ニュータウン地区で活動
- 高洲第一ショッピングセンター内に、**多世代交流ステーションにこりことクラカラ団地学校**をオープン
- 「いつまでも住み続けられるために」を掲げ、団地の住まいリフォームや買い物等の日常生活支援など、幅広い地域課題に取り組む



袋作り教室の様子



にこりこの日常風景

35

地域活動のご紹介

③NPO法人 福祉の街美浜をつくる会

- 高洲・高浜地区を中心に活動
- 一声活動(ひとり暮らし高齢者等への電話傾聴)、子育て交流会、「いっぷく」(高齢者等の食事会)などを行う



36

千葉大学サテライトキャンパス(サテキャン)

- 旧高浜第二小学校で2014年10月に開校
- 千葉大学が**地域の再生・活性化、社会貢献**を推進するための拠点
- 水曜～土曜の13:00～17:00は地域の方に開校
例えば・・・
 - 水曜13:30～14:00 サテキャンツアー
サテキャン内の見学や千葉大学の取組紹介
 - 木曜13:30～17:30 ミニ工房&カフェ
学生作の屋台を囲んで淹れたてのコーヒーを
 - 金曜15:00～16:30 遊びから学ぶぼうさい
誰でも参加できるミニレクチャーとサバイバルめし



最新情報はHPで！ →http://www.coc.chiba-u.jp/category/monthly_schedule/ 37

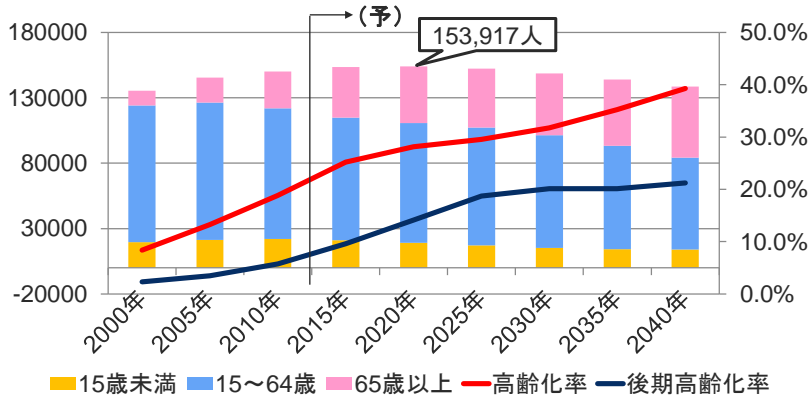
地区の課題

- 2040年以降も進む高齢化
- 賃貸住宅居住者の地域参加
(自治会結成等)
- 外国人も含めた住みよい
環境づくり

【参考】

美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

- 区の人口は2020年の約154,000人をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%に



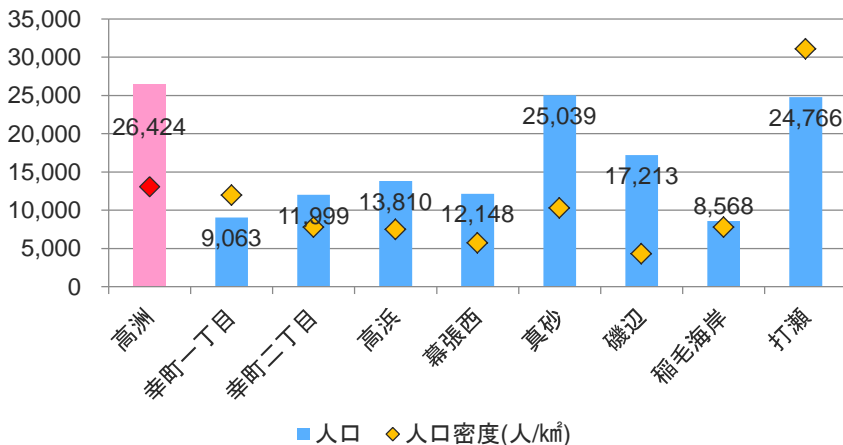
出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

39

【参考】

地区別 人口・人口密度

- 地区人口は最も多く、人口密度は2番目に高い



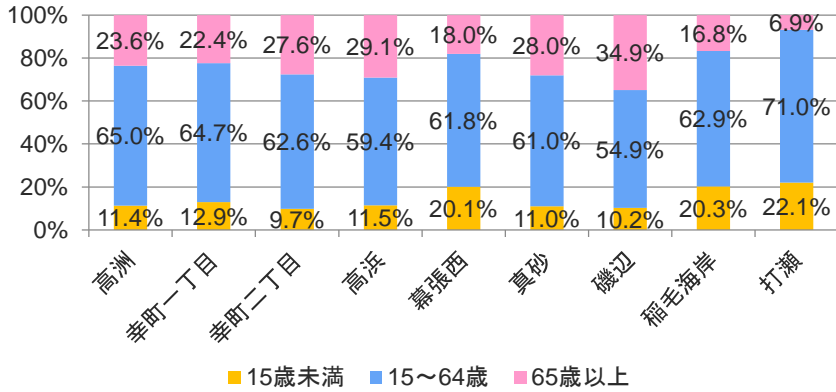
出典：2014年9月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

40

【参考】

地区別 年齢別人口構成比

■ 生産年齢人口比率が2番目に高い



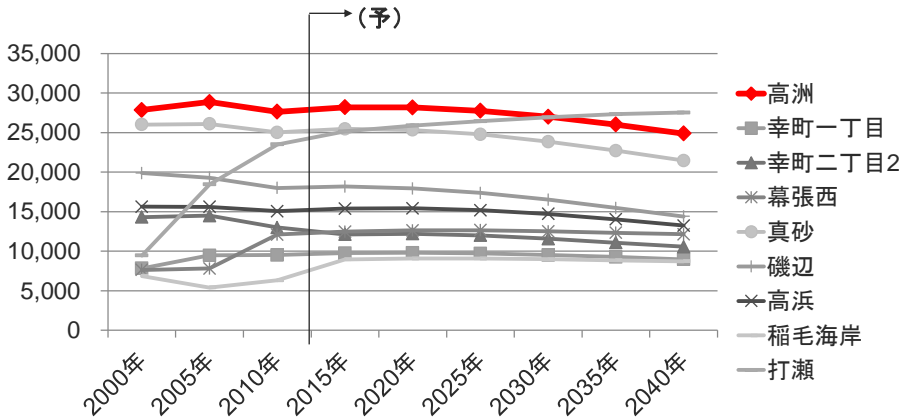
出典：2014年9月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

41

【参考】

地区別 将来推計人口

■ 人口は緩やかに減少していく



出典：2000年、2005年、2010年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

42